

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書

(対象年度 令和3年度)

令和4年8月

七飯町教育委員会

目次

I	点検及び評価の概要	
1.	点検及び評価の趣旨	1
2.	点検及び評価の対象及び対象期間	1
3.	点検及び評価の方法	1
II	教育委員会の運営状況	
1.	教育委員	2
2.	教育委員会議の開催状況	2
3.	教育委員会議以外の活動状況	6
III	教育費の決算状況	7
IV	教育委員会の機構	8
V	施策の点検及び評価	9
VI	点検評価有識者会議の意見	42

1 点検及び評価の概要

1. 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）の一部改正に伴い、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

教育委員会は、責任の明確化と効果的な教育行政の推進並びに地域住民への説明責任を果たすため、令和3年度の事務の管理及び執行状況について教育委員会自らが点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して提出するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象及び対象期間

（1）対象

令和3年度教育行政方針に掲げる主要施策

（2）対象期間

令和3年4月～令和4年3月

3. 点検及び評価の方法

（1）令和3年度教育行政方針の各施策について、教育委員会が点検及び評価を行います。

（2）点検及び評価を行うにあたり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、報告書を作成します。

（3）報告書は、七飯町議会に提出するとともに、ホームページ等に公開します。

II 教育委員会の運営状況

1. 教育委員

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条の規定により、教育長と4人の委員から構成されています。

職名	氏名	任期
教育長	與田 敏樹	平成29年10月8日～令和6年10月7日
教育委員(職務代理者)	山川 俊郎	令和2年10月1日～令和6年9月30日
教育委員	加屋本 旬	平成30年10月1日～令和4年9月30日
教育委員	菅沼 由美	令和元年10月1日～令和5年9月30日
教育委員	信夫 恵美子	平成29年10月1日～令和7年9月30日

2. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議は、定例会が毎月1回、臨時会が随時開催しています。

令和3年度の開催数は、定例会12回、臨時会1回となっています。

開催状況は、次のとおりです。

開催区分	案件	結果
4月1日(木) 令和3年 第4回 【定例会】	議案 第24号 令和3年度七飯町育英基金の貸付について 報告 第1号 教育行政動向報告(3月4日～4月1日) 第2号 教育委員会事務局職員等の人事異動について	承認 報告済 報告済
5月11日(火) 令和3年 第5回 【定例会】	議案 第25号 七飯町学校給食センター運営委員会委員の委嘱に係る専決処理について 報告 第1号 教育行政動向報告(4月1日～5月11日) 第2号 学校行事の見直しについて 第3号 七飯町立小中学校におけるバスケットゴール及び黒板の緊急点検について	承認 報告済 報告済 報告済

開催区分	案 件	結 果
6月8日(火) 令和3年 第6回 【定例会】	議案 第26号 令和3年度教育費補正予算に係る専決処理について 報告 第1号 教育行政動向報告(5月11日～6月8日)	承認 報告済
7月13日(火) 令和3年 第7回 【定例会】	議案 第27号 令和3年度教育費補正予算について 報告 第1号 教育行政動向報告(6月8日～7月13日) 第2号 教育委員会事務局職員の人事異動について その他 ・渡島中体連各種大会の結果について	承認 報告済 報告済
8月3日(火) 令和3年 第8回 【定例会】	議案 な し 報告 第1号 教育行政動向報告(7月13日～8月3日) 第2号 七飯町教育委員会会議録の公表について	報告済 報告済
9月14日(火) 令和3年 第9回 【定例会】	議案 第28号 令和3年度教育費補正予算に係る専決処理について 第29号 七飯町立学校職員服務規程の一部改正について 報告 第1号 教育行政動向報告(8月3日～9月14日) 第2号 七飯町教育委員会委員の任命について 第3号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執状況点検及び評価に関する報告書について	承認 承認 報告済 報告済 報告済
10月12日(火) 令和3年 第10回 【定例会】	議案 な し 報告 第1号 教育行政動向報告(9月14日～10月12日) 第2号 七飯町教育委員会教育長の任命に係る辞令交付について 第3号 七飯町教育委員会委員の任命に係る辞令交付について	報告済 報告済 報告済

開催区分	案 件	結 果
11月10日(水) 令和3年 第11回 【定例会】	議案 第30号 七飯町地域会館等設置補助交付要綱の一部改正について 報告 第1号 教育行政動向報告(10月12日～11月10日)	承認 報告済
12月14日(火) 令和3年 第12回 【定例会】	議案 第31号 令和3年度教育費補正予算に係る専決処理について 第32号 地域福祉施設の設置に関する条例の一部改正に係る専決 処理について 報告 第1号 教育行政動向報告(11月10日～12月14日)	承認 承認 報告済
1月11日(火) 令和4年 第1回 【定例会】	議案 第1号 七飯町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について 第2号 七飯町立学校修学旅行等引率職員負担金取扱要綱の制定 について 第3号 七飯町要保護及び準要保護就学援助費交付事務要綱の一部 改正について 第4号 七飯町学校林設置条例の廃止について 報告 第1号 教育行政動向報告(12月14日～1月11日)	承認 承認 承認 承認 報告済
2月8日(火) 令和4年 第2回 【定例会】	議案 第5号 令和3年度教育費補正予算に係る専決処理について 第6号 七飯町学校給食センター条例施行規則の一部改正につい て 報告 第1号 教育行政動向報告(1月11日～2月8日) 第2号 校長採用候補者、教頭昇任候補者及び主幹教諭昇任候補 者の登録結果について その他 ・七飯町立学校教職員の働き方改革の改訂について ・今後の教育委員会会議等の予定について	承認 承認 報告済 報告済

区分	案 件	結 果
3月2日(水) 令和4年 第3回 【定例会】	議案 第7号 令和3年度七飯町教育費補正予算について 第8号 令和4年度七飯町教育費予算について 第9号 令和4年度公立小中学校職員の人事異動内示について 報告 第1号 教育行政動向報告(2月8日～3月2日)	承認 承認 承認 報告済
3月28日(月) 令和4年 第1回 【臨時会】	議案 第10号 令和4年度七飯町教育費補正予算に係る専決処理について 第11号 七飯町教員住宅管理規則の一部改正について 第12号 七飯町図書室設置及び利用要綱の制定について 第13号 七飯町学校教育指導主事の任用について 第14号 七飯町教育支援センター教育支援指導員の任用について 第15号 生涯教育推進アドバイザーの任用について 第16号 七飯町社会教育委員の委嘱について 第17号 公民館館長の任命について 第18号 公民館・多目的会館管理人の委嘱について 第19号 七飯町スポーツ推進委員の委嘱について 第20号 七飯町教育委員会事務局組織規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

3. 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、会議以外にも、学校訪問や諸行事に参加しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、町立学校入学式、卒業式、成人式などへの参加は自粛しており、例年に比べ活動状況は縮小しています。

期 日	行 事 等	開催場所
4月1日(水)	令和3年度七飯町立学校教職員着任式	七飯町文化センター
11月3日(水)	令和3年度七飯町功労者表彰式	七飯町文化センター
11月10日(水)	令和3年度渡島教育委員会連絡協議会教育委員研修会	知内町中央公民館
11月16日(火)～ 11月24日(水)	町内各学校訪問(町立学校及び七飯高校、七飯養護学校)	各学校
3月28日(月)	教職員離任式	七飯町文化センター

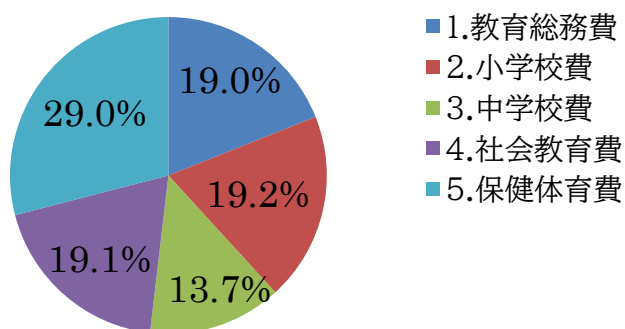
III 教育費の決算状況

1. 教育費（令和3年度）

（単位：千円）

項	予算現額	構成比	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1.教育総務費	140,199	19.0%	128,049	11,249	901	99.3%
2.小学校費	142,175	19.2%	134,980		7,195	94.9%
3.中学校費	100,879	13.7%	95,658		5,221	94.8%
4.社会教育費	141,185	19.1%	135,671		5,514	96.1%
5.保健体育費	214,532	29.0%	211,517		3,015	98.6%
計	738,970	100.0%	705,875	11,249	21,846	97.0%

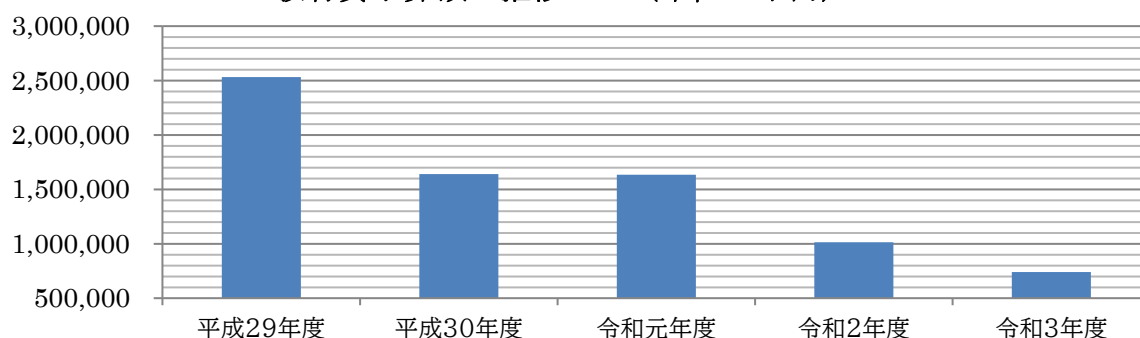
令和3年度教育費予算構成割合



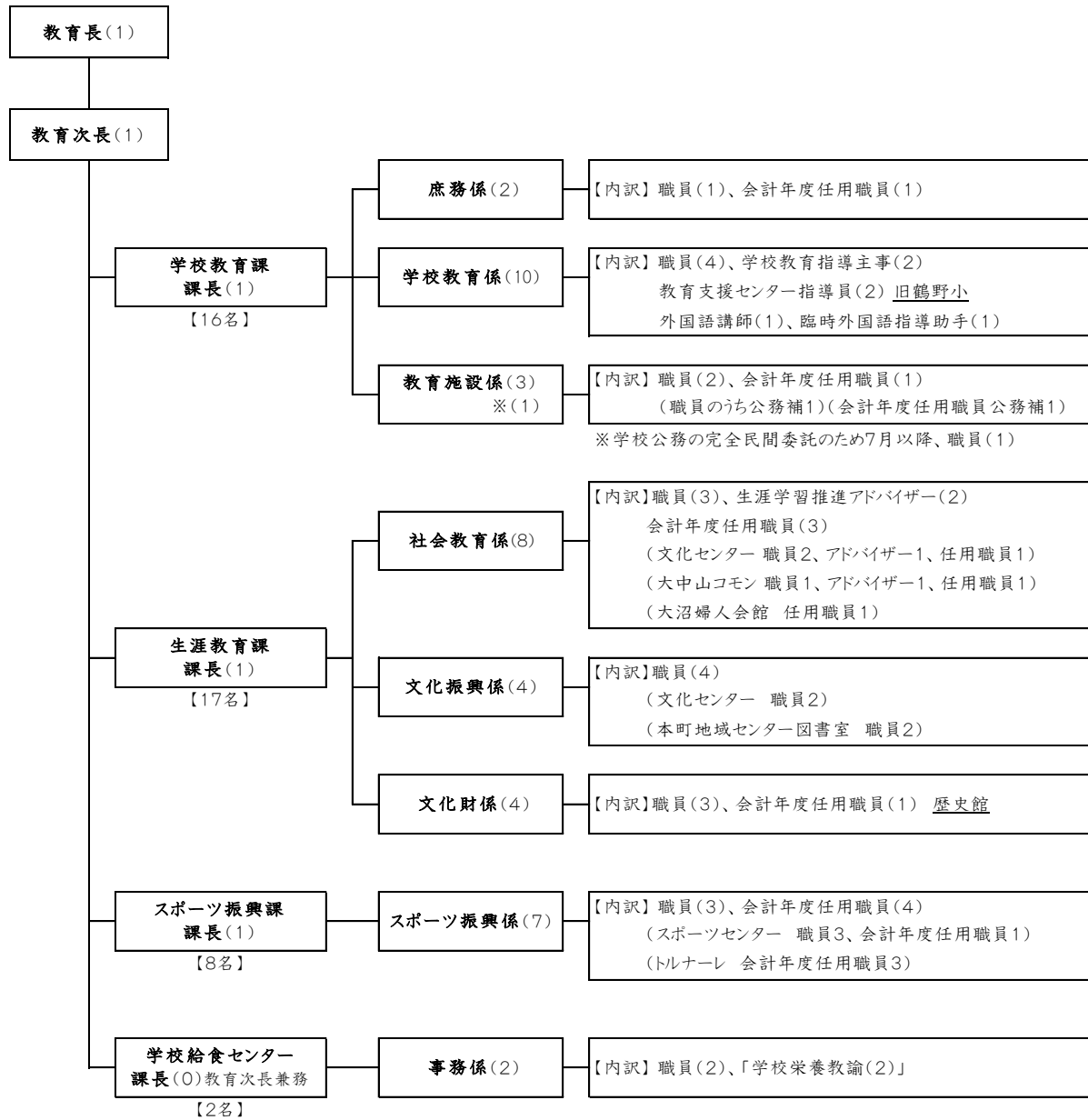
2. 年度別教育費予算の推移（単位：千円）

年度	予算現額	前年比
平成29年度	2,532,667	98.9%
平成30年度	1,640,987	64.8%
令和元年度	1,634,696	99.6%
令和2年度	1,013,803	62.0%
令和3年度	738,970	72.9%

教育費予算額の推移（単位：千円）



IV 教育委員会の機構 (令和3年4月1日現在：45名)



V 施策の点検及び評価

1. 点検及び評価の項目

No	基本施策	重点施策	具体的施策	評価	担当課
1	開かれた教育行政の推進	総合教育会議との連携、地域に根ざし開かれた教育委員会	①総合教育会議との連携	C	学校教育課
			②教育委員会議の公開・情報発信	B	学校教育課
			③教育行政方針の点検・評価及び公表	A	学校教育課
2	幼児教育の充実	家庭、幼児教育施設、小学校、地域、関係機関との連携推進	①関係機関との連携	B	学校教育課
3	学校教育の充実	(1) 学校経営の充実	①七飯町教育研究所等との連携による教職員の資質向上	A	学校教育課
			②働き方改革の推進（留守番電話対応やスクールロイヤー活用）	B	学校教育課
			③中学校区単位でのコミュニティ・スクールの活性化、地域学校協働本部の推進	A	学校教育課
		(2) 基礎・基本の確実な定着に向けた指導の充実	①学習支援員の配置によるきめ細やかな学習指導の実施	A	学校教育課
			②「七飯町家庭学習の手引き」の積極的な活用	B	学校教育課
		(3) 道徳教育の充実	①心の教育の充実	B	学校教育課
		(4) いじめ対策の充実	①いじめの未然防止、早期発見	B	学校教育課
		(5) 生徒指導の充実	①不登校対策、校外生活における安全安心の確保	B	学校教育課
		(6) 学校体育と学校保健指導の充実	①健康な身体づくりの推進	C	学校教育課
			②健康意識の高揚	A	学校教育課
		(7) 特別支援教育の充実	①特別支援教育支援員の配置による特別支援教育の充実	B	学校教育課
			②教育支援委員会での相談・指導の充実	A	学校教育課
(8) 環境教育の充実	①環境教育の充実	B	学校教育課		
(9) 国際理解教育の充実	①外国語（英語）講師の配置	A	学校教育課		
	②小中高英語教育連携協議会の支援	B	学校教育課		
(10) 防災・安全対策の充実	①安全な学校づくりの推進	B	学校教育課		
	②安全確保のための地域との連携	A	学校教育課		
(11) 食育の推進	①食育の計画的な推進	A	学校給食センター		
	②地元産食材の推進	A	学校給食センター		
	③学校給食会計の安定化、公会計への移行	C	学校給食センター		
(12) 教育環境の整備・充実	①教育施設の整備	B	学校教育課		
	②学校備品の整備・充実	A	学校教育課		
	③奨学金の利用促進	B	学校教育課		
	④就学援助費の見直し	A	学校教育課		
	⑤校長・教頭住宅のあり方	B	学校教育課		
	⑥学校事務職員の共同事務室化	C	学校教育課		
	⑦小中学校図書室の地域への開放	B	学校教育課		
	⑧対外競技等参加経費補助金の見直し	A	学校教育課		
4	生涯学習の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯学習事業の実施	B	生涯教育課
			②社会教育施設の計画的・効率的な整備と集約化	A	生涯教育課
			③老人大学の講座内容等の検討	B	生涯教育課
		(2) 青少年の健全育成	①心身ともにたくましい青少年育成	-	生涯教育課
			②青少年育成事業の推進	C	生涯教育課
		(3) 家庭と地域の教育力の向上	①家庭・地域・学校の連携強化	A	生涯教育課
(4) 芸術・文化の振興	①芸術文化創作活動の奨励	C	生涯教育課		
	①文化財の保存整備と積極的な活用	B	生涯教育課		
(5) 文化財の保護・管理の推進	②歴史館の活用	B	生涯教育課		
	(6) 生涯スポーツの推進	①スポーツ施設の環境整備	C	スポーツ振興課	
		②子どもたちへの運動の習慣化の推進	B	スポーツ振興課	
③スポーツ合宿誘致の推進		B	スポーツ振興課		

【基本施策】 1 開かれた教育行政の推進

【重点施策】 総合教育会議との連携、地域に根ざし開かれた教育委員会

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①総合教育会議との連携	
① 主な取組状況	・町部局と教育委員会が教育の課題や目的を共有し、より一層の教育の充実を図るため、例年は年1回総合教育会議を開催しているが、令和3年度は実施していない。	
② 成果	・総合教育会議の議題となる「教育行政方針」については、新たな町長と教育長の選任後に策定する必要があることから、新たな町長と教育長の就任後、早急に策定に取り組む予定である。	
③ 課題	・年1回程度の開催のため迅速性に欠けるほか、短期的な課題への対応は難しいため、長期的な政策を話し合う場として今後も開催する。	
④ 評価	C	

具体的施策	②教育委員会議の公開・情報発信	
① 主な取組状況	・月1回教育委員会議を開催し、教育に関する審議等を行った。 また、年1回教育委員が各学校を訪問し、委員会が推進する施策や教育現場の現状の把握に務めている。 ・会議録は調製後にHPにて公表している。	
② 成果	・教育委員会議において、委員会としての方針や規則改正、予算の決定等、教育の充実に関し重要な役割を果たした。	
③ 課題	・会議の日程等の周知はしているが、傍聴者は少ない。	
④ 評価	B	

【基本施策】 1 開かれた教育行政の推進

【重点施策】 総合教育会議との連携、地域に根ざし開かれた教育委員会

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③教育行政方針の点検・評価及び公表	
① 主な取組状況	・「令和2年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検評価」は、令和3年8月24日と9月10日に点検評価有識者会議を開催し点検、評価を行った。	
② 成果	・点検評価有識者会議委員による点検及び評価による取りまとめを行い、七飯町ホームページに公表し周知を図った。	
③ 課題	/	
④ 評価	A	

【基本施策】 2 幼児教育の充実

【重点施策】 家庭、幼児教育施設、小学校、地域、
関係機関との連携推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①関係機関との連携	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月から子育て事業として実施した5歳児健康診査において、所管部局と連携し行った。 ・その他個別の案件に対しては、関係する機関と連絡を取り合い情報共有を図った。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達に対する保護者からの相談の機会が増え、また、支援を必要とする子どもが小学校への就学に向けて適切な準備をすることができるよう、保健センター、教育委員会、対象校が連携し、情報の共有が図られた。 ・個別案件に対して、それぞれ連携が図られた。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児健康診査で得た情報の教育支援委員会での活用について検討が必要である。 	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (1) 学校経営の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①七飯町教育研究所等との連携による教職員の資質向上	
① 主な取組状況	・七飯町教育研究所の活動との連携により教職員の意欲的な学習指導方法の改善と充実に務めた。	
② 成果	・研究の中核にサークル活動をおき、前年度までの成果を踏まえて充実発展を図った。また、研修の機会を広げ、交流を活発化して研修意欲の高揚を図るとともに、教育課程の改善についての研究に努めた。	
③ 課題		
④ 評価	A	

具体的施策	②働き方改革の推進（留守番電話対応やスクールロイヤー活用）	
① 主な取組状況	・校務支援システムの導入により学校職員の勤務時間管理の徹底、また学校業務時間外における留守番電話の運用により教職員の働き方改革を推進した。	
② 成果	・すべての学校での留守番電話対応により業務改善に繋がった。 ・スクールロイヤー制度の活用は、弁護士対応となる案件がなかった。スクールロイヤー制度研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染症の状況悪化のため、中止せざるを得なかった。	
③ 課題	・今後、学校における働き方改革北海道アクションプランに則り、教職員の時間外在校時間の公表をはじめ、可能な取り組みを進めると同時に、スクールロイヤー制度を十分に活用するためにも教育委員会と学校の連携をより図っていく必要がある。	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (1) 学校経営の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③ 中学校区単位でのコミュニティ・スクールの活性化、地域学校協働本部の推進	
① 主な取組状況	・「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進めた。	
② 成果	・地域学校協働活動推進員の設置により、各校で学校を核とした地域づくりに関する活動が行われ、多くの地域住民と共に学校行事や地域の未来の姿について話し合いが進められている。また、大中山小・中学校では合同で開催するなど、連携を深める取組みも行われた。	
③ 課題	/	
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (2) 基礎・基本の確実な定着に向けた指導の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 学習支援員の配置によるきめ細やかな学習指導の実施	
① 主な取組状況	・ 習熟度に応じたきめ細やかな学習指導を行い、全ての児童生徒に基礎・基本の確実な定着と活用する力の育成に努めるとともに、希望する学校へ学習支援員を配置した。	
② 成果	・ 11名の学習支援員を7校に配置し、学習活動中の児童生徒一人一人の課題に、きめ細やかな対応を行った。	
③ 課題		
④ 評価	A	

具体的施策	② 「七飯町家庭学習の手引き」の積極的な活用	
① 主な取組状況	・ 基礎学力の向上と児童生徒の健全育成、社会の変化に対応した教育の充実等、家庭・地域社会との連携の下、児童生徒が学校生活を営む上で必要な規律や学習習慣を身に付けるよう、各学校への入学時に「七飯町家庭学習の手引き」を配付した。	
② 成果	・ 各学校において、家庭学習強調週間を設けるなどの取組みにより、児童生徒が目標を定め、計画的な学習習慣を身に付けることに役立った。	
③ 課題	・ タブレット端末やスマートフォン等の普及に伴い、オンラインゲームやLINE等SNS利用者の低年齢化が進み、家庭において学習に集中できない環境が進んでいる状況もあり、手引きの見直しを検討する。	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (3) 道徳教育の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①心の教育の充実	
① 主な取組状況	・各学校において、道徳教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、児童生徒の実態に応じて行事等も考慮した上で話し合い活動を充実させ、適切な指導を行った。	
② 成果	・自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養った。	
③ 課題	・心の成長を見取るといった道徳の評価については、各学校においても課題意識を持っている。	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (4) いじめ対策の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①いじめの未然防止、早期発見	
① 主な取組状況	<p>・いじめは、「どの子どもにも、どの学校でも、起こり得る」という意識を常に持ち続けるため、「七飯町いじめ防止基本方針」のもと、学校と連携し、いじめの未然防止、早期発見に努めた。</p> <p>・平成28年から7月を「いじめ根絶月間」と定め、毎年、教育委員会と校長会の共催で各学校の児童生徒より「いじめ防止標語」を募集している。</p>	
② 成果	<p>・児童生徒がいじめに対して自主的に考え行動する意識の醸成を図ることに役立った。</p> <p>・指導を深める中で、コミュニケーションの基本である挨拶をきちんと行う児童生徒が多くなり、いじめの未然防止につながることを期待される。</p>	
③ 課題	<p>・近年、いじめ問題の重大事案の発生はないが、万が一発生した場合には早期解決に努めていく。</p>	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (5) 生徒指導の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 不登校対策、校外生活における安全安心の確保	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校及び不登校の傾向にある児童生徒に対し、教育相談、適応指導、学習指導を通して、豊かな情操と社会性の育成を図るため、教育支援センター「レインボー」を設置、また、スクールカウンセラーが児童生徒及び保護者に対し相談業務を実施している。 ・校外生活の安全安心の確保では、「子ども110番の家」の設置や「防犯ブザー」の配付を行った。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センター「レインボー」において、児童生徒の意思や希望を尊重し、自立できるよう指導、援助するとともに心のケアを行った。 また、保護者への適切な指導、助言及び相談活動を行った。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒数が増加傾向にある状況において、学習指導以外に保護者への相談対応等も実施しており、現在2名体制の指導員の業務負担の増加が懸念される。 	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (6) 学校体育と学校保健指導の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 健康な身体づくりの推進	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力・運動能力の向上のため、生活習慣の改善とあわせて、学校体育の充実、生涯スポーツの基礎づくりを進め、健康な身体づくりを推進している。 ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施した。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施した結果を踏まえ、年間指導計画の改善を行うとともに、教員同士で取組みや指導方法の工夫・改善について検討したことにより、児童生徒の体力向上につながった。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、体育授業や部活動が制限されたことにより、児童生徒の運動不足が課題となっている。 ・調査結果による改善のほか、身体づくりについては体を動かすことの習慣化を図っていくことが重要である。 	
④ 評価	C	

具体的施策	② 健康意識の高揚	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や保健などの授業を通じて、心の教育、性教育、食育、がん教育等の推進を図り、児童生徒の健康意識の高揚に努めている。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、各種教育の授業を行い、児童生徒の理解を深めることができた。また、夏季及び冬季休業中において、七飯町スポーツセンターを優先的に使用できるよう配慮しており、児童生徒の運動機会が増加したことにより、健康意識の高揚に繋がっている。 	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (7) 特別支援教育の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 特別支援教育支援員の配置による特別支援教育の充実	
① 主な取組状況	・ 障がい等の理由により特別な教育支援が必要な児童生徒に対して、学校における日常生活の介助や学習支援を行なうため、希望する学校へ特別支援教育支援員を配置した。	
② 成果	・ 10名の特別支援教育支援員を6校に配置し、特別な教育支援が必要な児童生徒の日常生活上の介助や学習支援を行った。	
③ 課題	・ 少子化により児童生徒数は減少しているが、特別な支援を必要とする児童生徒は増加し、特別支援教育支援員の増員が求められている。	
④ 評価	B	

具体的施策	② 教育支援委員会での相談・指導の充実	
① 主な取組状況	・ 心身に障がいのある児童生徒の就学の適性を図るため、教育委員会の諮問機関として、教育支援委員会を年4回開催した。	
② 成果	・ 心身に障がいのある児童生徒の特別支援学校若しくは各学校の特別支援学級への就学及び教育上必要な支援の内容等を審議し、一人一人のニーズに応じた就学の場を総合的に判断した。	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (8) 環境教育の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①環境教育の充実	
① 主な取組状況	・各学校において、総合的な学習と関連をもたせ、環境教育の視点を取り入れた地域学習に取り組んだ。	
② 成果	・環境教育の視点を取り入れた地域学習を展開することにより、自然と人の関わりについての認識を深め、一人一人の児童生徒に確かな学力が身に着いた。	
③ 課題	・身近な七飯町の状況を通じて環境を考えるなどの取組みが必要である。	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (9) 国際理解教育の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①外国語（英語）講師の配置	
① 主な取組状況	・各学校において、語学指導等を行う外国語講師等を配置し、外国語（英語）授業の補助や英語教材の作成補助、課外活動への協力等を行った。	
② 成果	・1名の外国語講師（FLT）と1名の外国語指導助手（ALT）を採用し、各学校において、外国語（英語）授業の補助等を行ない、児童生徒の英語発音や国際理解教育の向上を図った。	
③ 課題		
④ 評価	A	

具体的施策	②小中高英語教育連携協議会の支援	
① 主な取組状況	・小中高の英語教育の系統性や連続性、指導方法の一貫性等を図ることを通して、学力、コミュニケーション能力の向上、地域に貢献する人材及び国際化時代を生き抜く力のある人材を育成するための、英語担当教員の指導力向上等を目指し研修会を開催した。 ・各学校6年生を対象に、コンコードへの理解を深めるためコンコード学習を行った。	
② 成果	・新学習指導要領に基づき、小学3、4年生の外国語活動（英語活動）が必修化、5、6年生で外国語（英語）が教科となり、小学校でスムーズな授業を開始することができた。	
③ 課題	・英語教員等の指導力向上のため、講師による研修会等の取組みを継続して行う必要がある。	
④ 評価	B	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (10) 防災・安全対策の充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①安全な学校づくりの推進	
① 主な取組状況	・施設、設備、通学路等の安全点検等、教職員全体で安全な学校づくりに取り組んだほか、突発的に発生する事件・事故・自然災害等に対処するため「危機管理マニュアル」の確認を行った。	
② 成果	・各学校で通学路の安全点検による危険箇所の把握や避難訓練を実施した。 また、峠下小学校では、1日防災学校を実施した。	
③ 課題	・当町は活火山駒ヶ岳を有しているほか、近年は全国的に大規模な自然災害等が頻発していることから、常に防災意識の向上を図る継続的な取組みが必要である。	
④ 評価	B	

具体的施策	②安全確保のための地域との連携	
① 主な取組状況	・地域における見守り活動として、「子ども110番の家」や不審者情報ネットワーク等の活用やコミュニティ・スクールの特性等を活かし、地域ぐるみでの児童生徒の安全確保に努めた。	
② 成果	・地域における見守り活動により、昨年引き続き、令和3年度の不審者情報は0件であった。	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (11) 食育の推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 食育の計画的な推進	
① 主な取組状況	<p>・ 栄養教諭と連携し作成した食に関する指導計画を、給食を提供している各学校において、栄養教諭の専門性を活かした「生きた教材」として活用する授業を実施した。</p> <p>・ 「セレクト給食」では、事前にメニューの特徴や栄養価等を示したチラシを配布し、児童生徒が「好き嫌い」のみではなく自身にとって良いメニューを選択するという取組みを実施した。</p>	
② 成果	<p>・ 児童生徒の食への関心が高まり、給食を食べる意欲に繋がり残食が減少傾向であるほか、食に対する自己管理能力の高まりが見られた。</p> <p>・ 食育の授業で児童生徒が作成したメニューを給食で採用し、食への興味と関心を高めることができた。また、「セレクト給食」の取組みでは、児童生徒が「考えて選ぶことの大切さ」と「選んで食べる楽しさ」を学ぶことができた。</p>	
③ 課題		
④ 評価	A	

具体的施策	② 地元産食材の推進	
① 主な取組状況	<p>・ 七飯産の食材をふんだんに活用した「プレミアムななえデー」を毎月2回設定し、資料等を配布して啓発しているほか、毎日の給食にも積極的に地元産品を使用した。</p> <p>また、国が実施する地場産品利用促進事業等の活用や、生産者と積極的に意思疎通することで、新たな地場産物の食材利用を図っている。</p>	
② 成果	<p>・ 地域の食材や自然、食文化産業等への理解が深まり、食への感謝の心や愛郷心を育むことができた。</p> <p>また、国の事業を活用し道産小豆を使用したデザート及び七飯産米粉を使った麺の提供など、新たな地場産物を給食に取り入れることができた。</p>	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (11) 食育の推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③ 学校給食会計の安定化、公会計への移行	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・督促状及び催告状の送付に加えて、訪問徴収や電話督促を実施している。 ・公会計の移行については、問題点など具体的な方法を検討中である。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、訪問徴収については新型コロナウイルス感染症対策により実施できなかったが、電話督促等を行った結果、収納率は前年度と比較して0.15ポイント上昇した。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる収納率の向上のため、今後とも継続した努力が必要である。 ・公会計化への移行については、引き続き検討する。 	
④ 評価	C	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (12) 教育環境の整備・充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①教育施設の整備	
① 主な取組状況	・各施設における不具合等に対し、修繕や改修等適宜対応するとともに、施設の長寿命化計画を策定し、長期的な計画に基づき対処した。	
② 成果	・各学校の不具合等に対し、修繕等迅速に対応した。 ・七重小学校の低学年等が使用するトイレの一部を和式から洋式に改修した。	
③ 課題	・施設の老朽化等に伴い、整備・改修等にかかる経費が増加しており、長期的計画の進行管理による施設維持が必要である。	
④ 評価	B	

具体的施策	②学校備品の整備・充実	
① 主な取組状況	・教材備品、情報機器の整備や庁用備品の整備を計画的に整備、購入した。	
② 成果	・GIGAスクール構想や新型コロナウイルス感染症対策の補助金等を活用し、オンライン授業に対応するための教材備品や、学びの保障に関する教材備品を購入した。	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (12) 教育環境の整備・充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③奨学金の利用促進	
① 主な取組状況	・七飯町育英基金については、年1回3月に申請を受け付けており、その際には町広報誌やホームページで周知し、制度の利用促進を図った。	
② 成果	・年間6件（金額140万4,000円）の利用があり、概ね活用されている。また、コロナ禍で経済状況が悪化した家庭への対応として年度途中での受付も可能にしている。	
③ 課題	・近隣自治体の事例を踏まえ、奨学金の減免措置など制度の見直しも必要である。	
④ 評価	B	

具体的施策	④就学援助費の見直し	
① 主な取組状況	・準要保護世帯の認定基準を近隣市町に合わせ、令和4年度から現在の世帯所得から世帯収入へ変更するため、生活実態に見合った適切な収入を把握する。	
② 成果	・準要保護認定世帯を世帯収入により算定した場合のシミュレーションを行い、認定基準の変更について町広報誌等により事前周知した。	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (12) 教育環境の整備・充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	⑤ 校長・教頭住宅のあり方	
① 主な取組状況	・各学校の隣接地または校区内に校長、教頭が居住する住宅（直営、民間借上）を整備しているが、今後は、学校経営に支障のない限り地域事情や交通事情を考慮し、自宅等からの通勤を検討する。	
② 成果	・大中山小学校の校長住宅については、借上住宅を令和3年度で廃止した。令和4年度からは自宅からの通勤とする。 ・建物の老朽化及び今後の利活用が見込めないことから、七重小学校敷地内にあった教員住宅1棟を解体した。	
③ 課題	・情報伝達や交通の利便が向上し、校区内に居住しなくても、地域との連携を維持できるため、老朽化した教員住宅の廃止など管理費の削減に向けた取組みが必要である。	
④ 評価	B	

具体的施策	⑥ 学校事務職員の共同事務室化	
① 主な取組状況	・事務作業の効率化を図るとともに、事務職員の連携体制を構築し、孤立化を防ぐため、学校事務職員の共同事務室化を検討した。	
② 成果	・今後の導入に向けて、学校事務連携会議にて業務内容等について協議を行った。	
③ 課題	・早期設置に向け協議を進める必要がある。	
④ 評価	C	

【基本施策】 3 学校教育の充実

【重点施策】 (12) 教育環境の整備・充実

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	⑦小中学校図書室の地域への開放	
① 主な取組状況	・七重小学校では、学校支援（図書）ボランティア「ハッピー七小サポーターズ」のメンバーが、子どもたちにとって図書室が「行きたい場所」「過ごしたい場所」になるよう、季節に合わせた模様替えや装飾、書籍の整理整頓、お話会を開催する等、工夫を凝らしながら活動を行った。	
② 成果	・地域の方々の協力による図書室の開放により、地域の交流の場、子どもの居場所づくりに繋がった。 ・「ハッピー七小サポーターズ」の活動については、結果としてメンバー間の親睦にも貢献している。	
③ 課題	・他の学校での取り組みを検討する。	
④ 評価	B	

具体的施策	⑧ 対外競技等参加経費補助金の見直し	
① 主な取組状況	・各学校が学校教育活動として行われる対外競技等に参加する際に、児童生徒及び引率教員の経費の一部を補助しているが、大会数の増加や競技種目の増加により、スポーツ振興課所管のスポーツ振興補助金との線引きが難しくなってきたことから、令和2年度に、七飯町対外競技等参加経費要綱を改正し、令和3年度から実施している。	
② 成果	・要綱改正により、該当競技が明確化され、事前協議も不要となったことから、手続き期間の大幅な短縮に繋がった。	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (1) 生涯学習の推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①生涯学習事業の実施	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体や読み聞かせサークルをはじめとする、町内社会教育団体への支援を行った。 子どもチャレンジ講座の開催 公民館講座の開催（詳細：P38 資料1） 地域セミナーの開催（詳細：P39 資料2） 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、参加人数を半減するなど感染対策を十分に行い、実施できた事業もあった。 ・子ども読書推進講座は中止せざるを得なかったが、子どもチャレンジ講座を実施し、物づくりイベントを通じて親子の絆を深めた。 ・各種講座を開催することで、教養の向上、健康増進を図ることができた。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体ともに高齢化が進んでいる。 ・各種講座等に対する新たなニーズの把握と指導者の発掘が必要。 	
④ 評価	B	

具体的施策	②社会教育施設の計画的・効率的な整備と集約化	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、文化センター・大中山コモン・大沼婦人会館のトイレを和式から洋式へ改修し、感染防止に努めた。 ・各施設の維持管理にかかる修繕を行った。 ・老朽化が進む東大沼生活館を廃止し、旧東大沼小学校を「東大沼会館」に名称を改め地域の会館として新たに設置した。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修実績 文化センター（和2基→洋2基） 大中山コモン（和4基→洋4基） 大沼婦人会館（和1基・洋1基→洋1基） ・各施設の故障箇所や不具合の改善した。 ・新たな地域の会館である「東大沼会館」を3月に開館した。 	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (1) 生涯学習の推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③老人大学の講座内容等の検討	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・七飯、大中山の2地区で老人大学を開設した。 ・新入学生を増やすため自治会と検討し、まずは老人大学の活動を知ってもらうことから始めるため、チラシやホームページ等による周知活動に力を入れてみた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、感染リスクが高いとされる飲食を伴う研修旅行や新年祝賀会などについては、感染状況を踏まえ中止せざるを得なかった。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事もあったが、老大学生のストレス発散と健康増進に寄与し、楽しい学習の場を提供することができた。 ・老大学生の人数は次のとおりである。 七飯老大（R3：52名 R2：61名）、大中山老大（R3：59名 R2：56名） 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・常に多様化するニーズに合わせ、提供する講座内容をどうするかが課題である。 	
④ 評価	B	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (2) 青少年の健全育成

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①心身ともにたくましい青少年育成	
① 主な取組状況	<p>・新型コロナウイルス感染症対策により、各青少年育成事業は中止となった。</p> <p>ミニバレーボール大会、かるた大会 → 中止（感染リスクのため）</p> <p>七飯音頭（盆踊り・太鼓）講習会 → 中止（お祭り中止に伴い）</p> <p>ななえ吹奏楽祭 → 中止（感染リスクのため）</p>	
② 成果		
③ 課題	<p>・コロナ禍でも実施が可能な内容を検討したが、まん延防止期間で警戒レベルが上がり、中止せざるを得なかった。その時々での感染状況によるが、他に実施可能な方法がないのか、引き続き検討が必要である。</p>	
④ 評価	-	※新型コロナウイルス感染症対策の影響により評価不能

具体的施策	②青少年育成事業の推進	
① 主な取組状況	<p>・コロナ禍で、子ども会は当初予定していた行事は全て中止となり、宿泊事業の代わりに急遽企画した大沼での日帰り体験事業のみの実施となった。</p> <p>・PTA連合会についてもオンラインで開催した渡島管内研究大会への参加以外、自主行事についてはすべて中止せざるを得なかった。</p> <p>・宿泊研修や文化体験事業なども新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった。</p>	
② 成果	<p>・子ども会活動では、日帰り体験事業「大沼で遊ぼうかい」を実施し、子どもたちにカヌーや果物狩りなど貴重な体験の機会を提供することができた。</p>	
③ 課題	<p>・コロナ禍でも実施が可能な内容を検討したが、まん延防止期間で警戒レベルが上がり、実施できない事業が多かった。その時々での感染状況によるが、他に実施可能な方法がないのか、引き続き検討が必要である。</p>	
④ 評価	C	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (3) 家庭と地域の教育力の向上

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 家庭・地域・学校の連携強化	
① 主な取組状況	<p>・ファミリー絵画展を実施した。</p> <p>・地域学校協働活動推進員が各コミュニティ・スクールに出向き、各学校の児童生徒がどのように育ってほしいのか、向かうべき将来像とそのため学校・地域が出来ることは何か、学校運営協議会委員のほか学校関係者や保護者などによる熟議を行った。</p>	
② 成果	<p>・コロナ禍で自粛などが続く中、ファミリー絵画展を開催することにより、児童生徒をはじめ保護者の方々にも和んでもらうことができた。</p> <p>・各コミュニティ・スクールでは、委員や学校関係者、保護者などがワークショップ形式にて、小中9年間を通し、子どもに「身に付けさせたい資質・能力」、「そのために必要な取組み」などについて話し合いを行った。</p> <p>・各地域が思い描く、育てたい子ども像（めざす15歳の姿）を共有することができ、参加者にとってはとても有意義な時間となった。</p>	
③ 課題		
④ 評価	A	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (4) 芸術・文化の振興

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① 芸術文化創作活動の奨励	
① 主な取組状況	<p>・新型コロナウイルス感染症対策により、各芸術文化活動は以下のとおりとなった。</p> <p>町民文化祭（各地区文化祭） → 中止（感染リスクのため）</p> <p>パイオニアフェスティバル → 中止（感染リスクのため）</p> <p>七飯町文化協会主催による舞台公演 → 感染症対策を講じ、2事業を実施</p>	
② 成果	<p>・七飯町文化協会主催により、子ども向けキャラクターショーやポップスコンサートが開催され、町民に対して芸術鑑賞の機会を提供することができた。</p>	
③ 課題	<p>・町民文化祭、パイオニアフェスティバルの実施については、直前まで感染状況に合わせて開催可能な方法を検討したが、最終的にはまん延防止措置の実施により中止せざるを得なかった。その時々感染状況によるが、他に実施可能な方法がないのか、引き続き研究が必要である。</p>	
④ 評価	C	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (5) 文化財の保護・管理の推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	①文化財の保存整備と積極的な活用	
① 主な取組状況	<p>・町内の文化財、史跡における草刈りなど環境整備を実施した。 ジュニア探検クラブの開催（8回開催）※コロナ禍により4回中止 （詳細：P40 資料3-1）</p> <p>歴史館だより「ピチャリ」の発行（毎月発行） 歴史館の収蔵物を活用した「特別展」などの開催（3回開催） （詳細：P40 資料3-2）</p>	
② 成果	<p>・コロナ禍ではあったが、ジュニア探検クラブを実施することができ、子どもたちの探究心を育てることができた。</p> <p>・町内の文化財や史跡を説明した「ピチャリ」の発行により、町民への周知と啓発を図ることができた。</p>	
③ 課題	<p>・ジュニア探検クラブ開催にあっては、感染症対策を十分にとって実施したが、場面により密に近い状況もあった。今後は、募集人員の見直しも必要である。</p>	
④ 評価	B	

具体的施策	②歴史館の活用	
① 主な取組状況	<p>・歴史、民俗、自然などをテーマとした企画展や歴史館で保管している収蔵物を使った特別展などを開催した。（詳細：P40 資料3-2）</p> <p>・夜の博物館は、コロナ禍の影響により後期のみ開催した。 （詳細：P40 資料3-3）</p> <p>・学習サービス室の配架の改善ならびに図書紹介の拡充を行った。</p> <p>・歴史館屋外見本園で育成しているリングヤブドウを活用した、ジャムを製造・販売した。</p>	
② 成果	<p>・身近なテーマを用いて、来館者に歴史や文化財に興味を持ってもらえた。</p> <p>・新刊本をはじめ蔵書を手に取り、読書する来館者が増加した。</p> <p>・ジャムを製造・販売することで、七飯町の農業史を広く周知できた。</p>	
③ 課題	<p>・コロナ禍ではあったが、想定よりも多くの事業を実施することができた。今後も、その時々での新型コロナウイルスの感染状況に合わせた実施可能な方法等について、引き続き検討が必要である。</p>	
④ 評価	B	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (6) 生涯スポーツの推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	① スポーツ施設の環境整備	
① 主な取組状況	・スポーツ施設の維持管理を徹底し、いつでも、どこでも、だれもが気軽にスポーツを親しみ、楽しめるよう努めている。	
② 成果	・各スポーツ施設における通常の維持管理を実施するとともに、本町パークゴルフ場のスタートマット6枚、スポーツセンターの卓球台4台を更新した。	
③ 課題	・老朽化した施設や備品の修繕料など更新費用に係る維持管理費の増大、老朽化した維持管理用作業機械に係る修繕費や作業効率の悪化による労働時間の超過など、財政の確保や職員の労働環境の改善が課題である。	
④ 評価	C	

具体的施策	② 子どもたちへの運動の習慣化の推進	
① 主な取組状況	・子ども対象の水泳教室は、コロナ禍により開催できなかったが、スキー教室については、感染症対策を徹底し事業を実施した。 (詳細：P41 資料4)	
② 成果	・スキー教室については、これまで全学年を対象に3日間にわたり開催してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、2学年毎に分散させ3日間開催した。	
③ 課題	・スポーツ事業の特性上、密になり易く、プレー中のマスクの着用も難しい。また、子どもが感染した場合、感染拡大の規模が大きくなり、コロナ禍において子ども向けの事業の実施については慎重に判断する必要がある。	
④ 評価	B	

【基本施策】 4 生涯学習の推進

【重点施策】 (6) 生涯スポーツの推進

評価区分	A：十分達成できた
	B：概ね達成できた
	C：やや不十分である
	D：不十分である

具体的施策	③ スポーツ合宿誘致の推進	
① 主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上合宿は、別紙資料のとおり5チームが実施した。 (詳細：P41 資料4) ・サッカー合宿は、川崎フロンターレがJリーグ日程の都合により実施できなかった。 	
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上合宿については、4チームが緊急事態宣言やまん延防止対策等によりキャンセルとなったが、自然環境の評価は高く、例年並みのチーム数が合宿を実施した。 	
③ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿受け入れ可能な宿泊施設及び練習場所の確保が必要である。 	
④ 評価	B	

令和3年度公民館講座実施報告<第1期>

会場	講座名	講師名	実施回数	定員	講座受講決定人数	講座実施回数及び受講者人数										参加率	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		計
文化センター	舞踊講座	西坂 由美子	10	10	5	5	5	5	5	5	2	4	5	5	5	46	92%
	水彩画&日本画講座	長川 利幸	10	10	8	7	5	7	5	6	7	7	4	7	6	61	76%
	洋裁講座	近藤 洋子	10	10	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	29	97%	
	書道講座	澤田 宵竹	10	10	10	9	8	8	7	8	8	8	7	8	8	79	79%
	ローラーピラティス講座	佐竹 直子	10	11	11	11	10	9	10	11	10	11	10	9	8	99	90%
	ルーシーダットン講座	佐竹 直子	10	10	6	5	6	6	6	6	6	4	6	6	4	55	92%
大中山コモン	フラワーアレンジメント講座	松本 優子	10	15	12	12	9	12	10	10	12	11	9	9	10	104	87%
	創作紙粘土講座	林 良子	10	10	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	38	95%
	気功講座	沢谷 進	10	15	9	9	7	8	7	8	6	7	6	7	6	71	79%
大沼婦人会館	書道講座	澤田 宵竹	10	10	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	38	95%
	合唱講座	服部 満	10	10	6	5	4	5	3	5	5	5	5	5	5	47	78%
	貯筋体操講座	二階堂 久美子	10	10	7	7	6	7	6	4	6	7	6	6	4	59	84%
峠下公民館	生き生き健康舞踊講座	庭田 紀江子	10	10	8	9	8	7	7	7	7	8	7	8	7	75	94%
	生け花講座	宮永 華子	10	10	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	36	90%
大沼多目的会館	花あそび講座	後藤 智子	10	10	6	5	6	5	6	5	6	6	5	4	6	54	90%
	ディスコダンス講座	鈴木 芳枝	10	20	18	15	14	10	15	13	13	14	16	10	15	135	75%
			160	181	121	114	103	104	102	101	103	105	99	98	97	1,026	85%

令和3年度公民館講座実施報告<第2期>

会場	講座名	講師名	実施回数	定員	講座受講決定人数	講座実施回数及び受講者人数										参加率	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		計
文化センター	舞踊講座	西坂 由美子	10	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50	100%
	水彩画&日本画講座	長川 利幸	10	10	9	9	8	8	8	8	8	7	6	6	6	74	82%
	洋裁講座	近藤 洋子	10	10	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	100%
	ローラーピラティス講座	佐竹 直子	10	10	10	10	10	10	9	9	8	10	9	10	10	95	95%
	ルーシーダットン講座	佐竹 直子	10	10	10	9	9	8	7	7	8	8	8	9	9	82	82%
	書道講座	澤田 宵竹	10	10	6	4	5	6	5	6	6	6	6	6	6	56	93%
大中山コモン	フラワーアレンジメント講座	松本 優子	10	15	14	14	14	14	12	13	12	14	11	12	13	129	92%
	創作紙粘土講座	林 良子	10	10	4	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	37	93%
	気功講座	沢谷 進	10	15	6	6	6	4	6	6	6	4	5	4	5	52	87%
大沼婦人会館	書道講座	澤田 宵竹	10	10	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	49	98%
	合唱講座	服部 満	10	10	6	6	4	6	5	6	5	5	4	4	4	49	82%
	貯筋体操講座	二階堂 久美子	10	10	9	9	5	9	5	7	6	4	5	7	5	62	69%
峠下公民館	生き生き健康舞踊講座	庭田 紀江子	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	79	99%
	生け花講座	宮永 華子	10	10	4	2	3	3	2	2	4	2	3	2	3	26	65%
大沼多目的会館	ディスコダンス講座	鈴木 芳枝	10	20	19	14	15	16	11	14	15	14	13	17	14	143	75%
			150	170	118	108	104	108	94	102	103	98	95	102	99	1,013	86%
	1期・2期計		310	351	239	222	207	212	196	203	206	203	194	200	196	2,039	85%

令和3年度 地域セミナー開催状況

	町内会名	実施日・人数											
		実施日①	講座名/講師名	出席者数	実施日②	講座名/講師名	出席者数	実施日③	講座名/講師名	出席者数	回数	人数	
1	松の木町内会											0	0
2	大沼公園親和会											0	0
3	大川美園町内会											0	0
4	西部鳴川町内会											0	0
5	緑町町内会											0	0
6	東大川町内会	7/1	心のバランスと筋肉量のアップ /吉田礼子	19	7/17	囲碁研究/体阿弥順一	3	10/11	筋トレ/金谷裕子	8	3	30	
7	鳴川中央町内会											0	0
8	にんにく沢町内会											0	0
9	大川十字街町内会											0	0
10	本町下通り町内会											0	0
11	吉野山町内会	12/3	血圧測定/保健師 ラジオ体操・会館掃除	11	2/4	栄養士さんのお話(味噌汁の塩 分)/栄養士	中止	3/11	料理・血圧測定/保健師 健康相談	8	2	19	
12	大中山中央町内会											0	0
13	鶴野町内会											0	0
14	中野町内会											0	0
15	光陽団地町内会											0	0
16	松並町内会											0	0
17	七飯町中央親交会											0	0
18	峠下連合町内会	6/9	切り絵①/梅崎誠	7	6/23	切り絵②/梅崎誠	6					2	13
19	本町駅前町内会											0	0
20	青葉台町内会											0	0
21	南藤城町内会	10/6	健康体操/安保道子	11	10/13	健康体操/安保道子	10	10/20	健康体操/安保道子	10	3	31	
22	軍川親交連合会	9/15	ブリザードフラワーアレンジ/ 佐々木美由紀	中止								0	0
23	見晴町内会											0	0
	合計											10	93

1. ジュニア探検クラブ開催状況

番号	実施日	開催有無	内 容	参加数	備 考
1	4月24日(土)	開催	開講式	6名	
2	5月29日(土)	開催	縄文体験	6名	
3	6月26日(土)	開催	植物標本	6名	
4	7月17日(土)	開催	てくてく登山	6名	
5	8月28日(土)	中止	昆虫標本	—	
6	9月25日(土)	中止	まち探検～秋	—	
7	10月23日(土)	開催	石の名前は?	4名	
8	11月13日(土)	開催	駒ヶ岳の形と地層の観察	5名	
9	12月25日(土)	開催	土器づくり	5名	
10	1月29日(土)	中止	わかさぎ釣り	—	
11	2月26日(土)	中止	わかさぎ釣り	—	
12	3月19日(土)	開催	閉講式	5名	

2. 企画展等の実施状況

番号	開催期間	事業内容	来客者数	備 考
1	4月14日(水) ～6月6日(日)	企画展「地図に惹かれてー地図と街歩きのはなし」	468名	54日間
2	7月15日(木) ～8月26日(木)	特別展「縄文のカタチ」	853名	43日間
3	3月26日(土) ～5月15日(日)	企画展「縫う・繕う～「衣」のある暮らし」	428名	51日間

3. 夜の博物館講座開催状況

番号	実施日	開催有無	講座内容	参加数	備 考
1	12月8日(水)	開催	奉行から箱館府へ、激動のななえ	9名	
2	1月12日(水)	開催	函館地形探訪	13名	
3	2月2日(水)	開催	西山式土器の再評価	9名	
4	3月16日(水)	開催	道南地域における都市の植物多様性保全	11名	

1. 令和3年度各種教室（子ども対象）

番号	事業名	期間	会場	参加人数	備考
1	ちびっこ（親子）サッカー教室	—	東大沼多目的グラウンド	中止	
2	小学生水泳教室・検定会	—	町民プール	中止	
3	小学生ミニバレーボール教室	—	スポーツセンター	中止	
4	小学生スキー教室	—	函館七飯スノーパーク他	78名	

2. 令和3年度各種スポーツイベント（子ども対象）

番号	事業名	期間	会場	参加人数	備考
1	大沼湖畔駅伝競走大会	—	大沼公園	中止	
2	トルナーレガールズチャレンジカップ	—	東大沼多目的グラウンド	中止	
3	トルナーレチャレンジカップ（U12）	—	東大沼多目的グラウンド	中止	
4	町民スポーツ大会（10種目）	—	本町多目的グラウンド他	中止	
5	少年少女フットサル大会	—	スポーツセンター	中止	

3. 令和3年度スポーツ合宿

番号	競技名	チーム名	期間	宿泊施設	参加人数	過去合宿実績
1	陸上 (女子)	デンソー女子陸上長距離部	8月3日(火)～8月13日(金)	ステーションホテル旭屋	選手 13名 スタッフ 7名	9回(H23～H28, R1～R3)
2	陸上 (女子)	エディオン女子陸上競技部	8月16日(月)～8月30日(月)	函館大沼プリンスホテル	選手 10名 スタッフ 10名	2回(R2～R3)
3	陸上 (女子)	京セラ女子陸上競技部	8月13日(金)～8月27日(金)	函館大沼プリンスホテル	選手 12名 スタッフ 5名	1回(R3)
4	陸上 (男子)	GMOアスリーツ	8月23日(月)～9月3日(金)	函館大沼プリンスホテル	選手 12名 スタッフ 6名	5回(H29～R3)
5	陸上 (男子)	NTT西日本陸上競技会	8月19日(木)～8月27日(金)	函館大沼プリンスホテル	選手 10名 スタッフ 4名	1回(R3)

VI 点検評価有識者会議の意見

1. 点検評価有識者会議委員

委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項及び七飯町教育委員会点検評価有識者会議設置要綱の規定により、2名の委員で構成しています。

任期は、令和4年7月25日から令和5年3月31日までとなっています。

氏名	経歴等
鈴木 清二	元七飯町教育委員長、元大中山中学校校長
服部 満	元七飯町社会教育委員長、元藤城小学校校長

2. 点検評価有識者会議の開催状況

開催状況は、次のとおりです。

開催区分	案件
7月25日(月) 令和4年 第1回	議案 第1号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書について
8月10日(水) 令和4年 第2回	議案 第1号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書の有識者会議意見について

3. 点検評価有識者会議の意見

教育委員会が行った点検評価の取組みは、住民への説明責任を果たすことや開かれた教育行政を推進するためにも、たいへん意義があり評価できます。

点検評価の対象とした令和3年度教育行政方針に掲げる主要施策の取組みについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校並びに町民の文化芸術・スポーツ活動に大きな影響があり、運営に大変苦慮されたことと思います。

点検評価有識者会議では、これらの状況を踏まえ、点検評価内容の聞取りを実施し、問題点や今後のあり方、また、望むべきことについて気付いた点を4つの基本施策事項ごとに申し述べます。

1. 開かれた教育行政の推進について

- ・ 総合教育会議は、町長改選期のため当該年度に開催されなかったが、新町長就任後開催され、町長部局との情報共有が図られている。今後も充実した会議になるよう期待したい。
- ・ 教育委員会議の公開のほか、新たに会議録の公開を行い情報発信に努められている。

2. 幼児教育の充実について

- ・ 幼児教育施設と小学校との連携状況は、良好であり評価できるが、令和3年度から実施された5歳児健康診査の結果の活用を含め、町長部局や地域、関係機関との連携がより確かなものになることを望む。

3. 学校教育の充実について

(1) 学校経営の充実

- ・ 教職員の資質向上や教職員の働き方改革の推進については、概ね実施されており評価できる。今後も実施可能な取組みを進めていただきたい。
- ・ 地域学校協働活動推進員の設置により学校と地域との連携が深まっていることから、コミュニティ・スクールの更なる活性化に努めていただきたい。

(2) 基礎・基本の確実な定着に向けた指導の充実

- ・ 学習支援員の配置によるきめ細やかな学習指導はおおむね評価できる。
- ・ 「七飯町家庭学習の手引き」の活用においては、各家庭で普及が進んだタブレット、スマートフォン等の有効的な活用のための見直しを検討していただきたい。

(3) 道徳教育、いじめ対策、生徒指導の充実

- ・ 道徳教育は、命を大切に作る心や社会・生活との関わりを大切にした「心の教育」を育むために非常に重要であると考えことから、地域との関わりを充実させ豊かな人間形成ができるように「生きる力」の育成を推進していただきたい。
- ・ いじめは、いつ、どこで、だれに起こるかわからない。万が一いじめが発生した場合は、七飯町いじめ防止基本方針に基づき、早期解決に当たることを望む。
- ・ 不登校児童生徒は、社会の変化などの影響により対象人員が増加している。教育支援センター「レインボー」への通級人数も増加傾向にあること

から、スクールカウンセラーなどの専門機関と連携し、問題解決の早期対応を望む。また、校外生活における安全安心の確保に向け、「子ども110番」の拡充など地域と学校との連携を強化していただきたい。

- ・ 生徒指導の観点から、児童生徒によるタブレットやスマートフォン等の適切な利用を推進するため、学校と家庭とが情報を共有できる体制づくりについて検討をお願いしたい。

(4) 学校体育と身体づくりの推進

- ・ 健康な身体づくりの推進は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、児童生徒の運動不足が懸念されるため、体を動かすことの習慣化や生活改善を図るといった取組みを期待したい。

(5) 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教育は、特別な教育支援が必要な児童生徒が増加していることから支援員の増員を望む。
- ・ 教育支援委員会は、5歳児健康診査での情報も積極的に活用していただきたい。

(6) 教育環境の整備・充実

- ・ 学校事務職員の共同事務室化は、その目的を地域や学校また、事務職員と共通理解を図り、進めていただきたい。
- ・ 小中学校図書室の地域への開放は、七重小学校での取組みを他の学校へ広げられるよう進めていただきたい。

4. 生涯学習の推進について

(1) 生涯学習の推進

- ・ コロナ禍において、感染対策を行いながら、各サークル、各種講座の開催や町内社会教育団体への支援などを実施されたことは高く評価できる。

新型コロナウイルス感染症が収束せず、各種イベントの縮小・中止により、各会館への利用者数等が減少したことはやむを得ないことである。

今後も感染症対策を十分に講じながら、引き続き事業を継続していただきたい。

- ・ 老人大学については、高齢化率の上昇にもかかわらず、参加者は近年減少傾向にある。多様なニーズの中、何を提供するか課題も多いが、高齢者の活動を支援していただきたい。

(2) 青少年の健全育成

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している事業は中止

せざるを得ない状況であったが、今後は、感染症対策による開催可能な事業の実施について検討いただきたい。

(3) 家庭と地域の教育力の向上

- ・ 家庭・地域・学校の連携強化については、コロナ禍であっても、感染症対策を行いながら、ファミリー絵画展を実施されたことは評価したい。
また、「地域学校協働本部」が設置され、各コミュニティ・スクールにおいて地域等と話し合いが進んでいる。今後も学校を中心とした地域づくりのため家庭、地域、学校が連携・協働されることを期待したい。

(4) 芸術・文化の振興

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、町民文化祭、パイオニアフェスティバルなどの主要な芸術文化活動は中止せざるを得ない状況となったが、ジュニア探検クラブや歴史館で保管されている収蔵物による展示などは、規模縮小など工夫を凝らしながら実施されたことは評価したい。今後は、コロナ禍であっても、きめ細かな情報発信に努め、歴史への関心を高める手立てを引き続き講じられたい。

(5) 生涯スポーツの推進

- ・ 残念ながらスポーツイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止に追い込まれたが、実業団のスポーツ合宿では、5チームを誘致できたことは評価できる。
今後もコロナ禍が続くと思われるので、工夫を凝らしたスポーツ振興策を期待する。